

雪ニモ負ケズ

センター試験の雪。去年もそう、ことし1月21日もそうだった。試験初日をねらいうちするように、未明から降りしきった。「雪の特異日」なんですよか。

多摩キャンパスの、「青年像」もふんわり綿帽子。かつて駿河台から総合政策学部棟前に移設された2体の像は、「わだつみの像」で知られる本郷新氏が陸上選手をハダカにして制作したもの。雪ニモ負ケズ、受験生を見守りつづけた。



のほり
手に手に幟をもって、朱塗りの鳥居をくぐる。永井和之総長・学長が、そして部課長ら幹部職員が……。向かうのは丘のてっぺんのお稲荷さん——「こんじん金住稲荷」という。2月22日、初午の例大祭（この日は二の午）がことしもしずしずと営まれた。

アカデミズムの中に鎮座する神仏混のカミ。多摩キャンパスの守り神でもあるか。中央大学は毎年一基ずつ鳥居を奉納している。

行ってみませんか。桜広場からアメフト・グラウンドなどを見下ろしながら……。急坂ですけどね。

丘の上のお稲荷さん

